

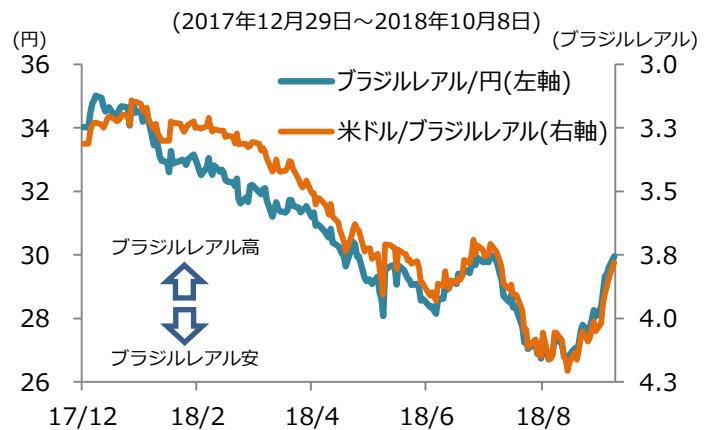


ブラジル – 過半数獲得候補おらず大統領選は決選投票へ –

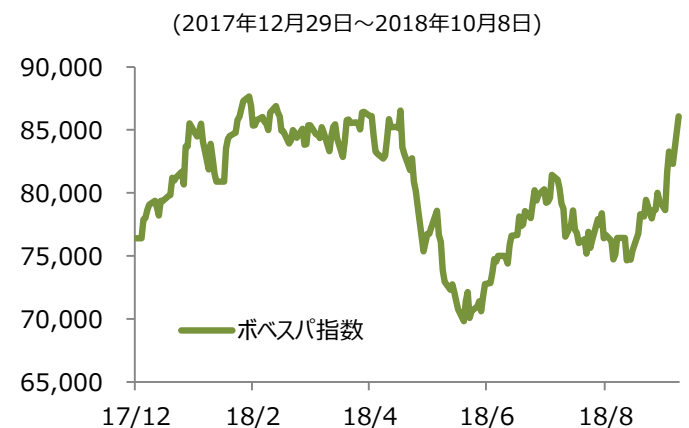
POINT 株・債券・為替がトリプル高

10月7日(現地時間)、注目のブラジル大統領選挙が実施されました。結果は大方の予想通り、過半数を獲得した候補がおらず、10月28日に決選投票が行われることとなりました。決選投票の対象となる候補は、極右のボルソナロ下院議員(社会自由党)と左派のアダジ元サンパウロ市長(労働党)の両名で、報道によると各候補の得票率は、ボルソナロ氏が46.2%、アダジ氏が29.1%となった模様です。市場では、ボルソナロ氏が優勢になったことが好感され、10月8日の海外終値は1米ドル=3.78ブラジルレアル、1ブラジルレアル=29.96円と大きく上昇し、併せて株式、債券も上昇するトリプル高となりました。

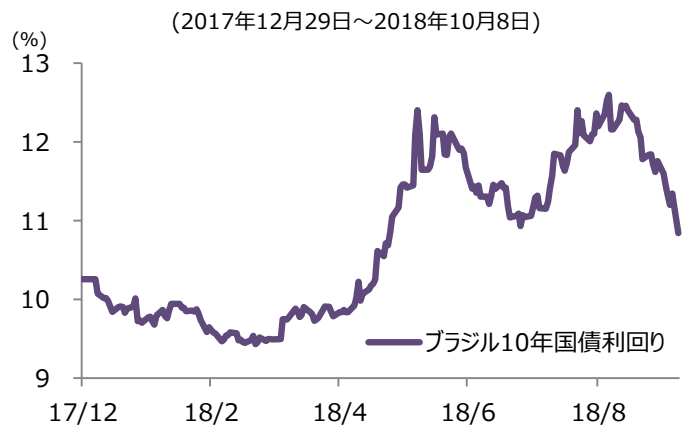
– ブラジルレアルの推移 –



– ブラジル株式の推移 –



– ブラジル長期金利の推移 –



出所：Bloomberg

POINT ボルソナロ氏はどんな人物か

ボルソナロ氏は、汚職撲滅と治安改善を訴え、これまでの左派による長期政権がもたらす弊害に不満を抱く有権者からの支持を集めました。特に、高学歴層や中間所得者層以上からの支持が中心と言われています。一方で、女性や性的マイノリティーに対する蔑視的な発言や、軍事独裁政権(ボルソナロ氏は軍人出身)を讃えるような発言も見られ、国民の反発が根強いとも言われています。決選投票は、極右対左派の一騎打ちとなりますが、どちらが当選しても国会で多数派を得るのは難しいとも言われている中で、今後誕生する新政権の政策運営が注目されます。

今後の見通し 新政権の政策運営に期待

インフレの抑制に成功したブラジルでは、政策金利が最低水準(6.50%)となり、国内景気が回復傾向にあります。また懸念の経常収支赤字も改善傾向にあります。今後、政治リスクが払しょくされ、新政権が市場の信認を得られるような政策運営を掲げられれば、相対的に金利水準が高いブラジルレアルは上昇基調を辿ることが期待され、併せて株式や債券も上昇基調が期待できると思われれます。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいゐすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会